

(仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に伴う建築工事の請  
負契約の一部を変更する契約を締結するについて

- 1 契約の目的 (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に伴う建築工事
- 2 元契約金額 5, 0 2 5, 0 5 5, 2 0 0 円 { 当初契約額 : 5, 000, 600, 000 円  
第 1 回変更額 : 24, 455, 200 円  
【R6. 10. 17 増額】
- 3 今回の変更金額 3 4 4, 2 7 1, 4 0 0 円 増額
- 4 変更後の契約金額 5, 3 6 9, 3 2 6, 6 0 0 円
- 5 契約の相手方 東洋・田中健特定建設工事共同企業体  
(代表者)  
京都市中京区蛸薬師通高倉西入泉正寺町 3 3 4 番地  
東洋建設株式会社 京滋営業所 所長 政安 誠三  
(構成員)  
宇治市小倉町新田島 5 番 4 0  
株式会社田中健建設工業 代表取締役 田中 崇一郎
- 6 工事場所 宇治市伊勢田町遊田 7 番地の 1

- 7 変更理由 インフレスライド条項適用、掘削土処分等費用の増額に対応するため

【単位：千円】

| 内容           | 令和6年度   | 令和7年度<br>(債務負担) | 合計      |
|--------------|---------|-----------------|---------|
| インフレスライド条項適用 | 13,267  | 113,033         | 126,300 |
| 掘削土処分等       | 217,972 | -               | 217,972 |
| 合計           | 231,239 | 113,033         | 344,272 |

- 8 仮契約年月日 令和7年1月30日

- 9 今後のスケジュール（予定）

- 3月下旬頃 議決後  
建築工事の変更契約（本契約を締結）  
※機械工事及び電気工事の変更契約を締結
- 4月以降 文教・福祉常任委員会において、機械工事及び電気工事の変更契約（専決処分）の報告
- 6月議会 機械工事及び電気工事の変更契約の専決処分の報告

## ◆インフレスライド条項適用関係

※インフレスライド条項…予期せぬ特別な事情により、工期内に急激なインフレ又はデフレを生じ、請負代金が著しく不相当となった場合、請負代金の変更請求ができる措置

積算単価（大きく上昇した内容抜粋）

| 内容          | 当初設計時<br>(R5. 8時点)     | R6. 4時点                | 上昇率    |
|-------------|------------------------|------------------------|--------|
| 鉄筋加工組立（工）   | 47,500円／t              | 51,000円／t              | 7.37%  |
| コンクリート打設（工） | 630円／m <sup>3</sup>    | 710円／m <sup>3</sup>    | 12.70% |
| 型枠（材工）      | 3,760円／m <sup>2</sup>  | 4,090円／m <sup>2</sup>  | 8.78%  |
| 外部軒天塗装（材工）  | 2,090円／m <sup>2</sup>  | 2,520円／m <sup>2</sup>  | 20.57% |
| 内部塗装（材工）    | 1,020円／m <sup>2</sup>  | 1,210円／m <sup>2</sup>  | 18.63% |
| 床フローリング（材工） | 10,600円／m <sup>2</sup> | 12,300円／m <sup>2</sup> | 16.04% |
| など          |                        |                        |        |

（工）労務費、（材工）材料費・労務費

労務単価・材料費の単価を置き換え再積算【3.56%の増】  
 ≪残工事ベース≫  
 4,921,309千円  
 ↓（175,513千円の増）  
 5,096,822千円

受注者負担分1%

（49,213千円）を除き

126,300千円の増額

## ◆掘削土処分関係

≪当初設計時（R5. 8）≫

令和4年8月実施のボーリング調査（P4参照）における土質状況から、一定量の産業廃棄物の処分量を算出・積算。

≪実工事の状況≫

掘削面全体に、土として処分ができない産業廃棄物となるコンクリート片や煉瓦片が多く混在していた。構内で分別（振るい作業）を行い、残土と産業廃棄物に分別し処分。（P4参照）

（1）残土の運搬・処分

| 量                   | 費用       |           | 量                    | 費用        |
|---------------------|----------|-----------|----------------------|-----------|
| 8,948m <sup>3</sup> | 82,715千円 | 40,022千円増 | 15,043m <sup>3</sup> | 122,737千円 |

・地盤改良面の掘削範囲が増えたことで、残土の量が増加

（2）産業廃棄物の分別（振るい作業）・運搬・処分

| 量                   | 費用       |            | 量                   | 費用        |
|---------------------|----------|------------|---------------------|-----------|
| 1,248m <sup>3</sup> | 13,253千円 | 173,372千円増 | 3,030m <sup>3</sup> | 186,625千円 |

※「t」は「m<sup>3</sup>」に換算

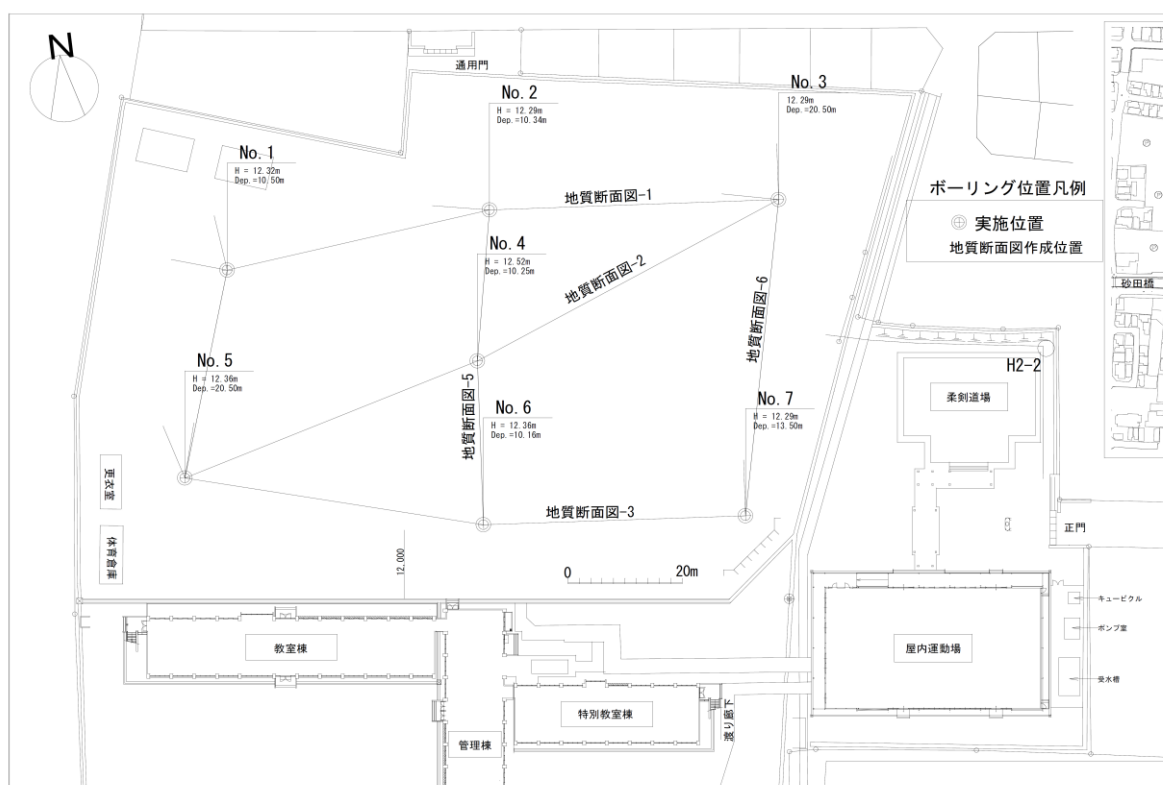
- ・土中の状況、及び地盤改良面の掘削範囲が増えたことで、産業廃棄物の量が増加
- ・アスファルトを有価物として処分する予定であったが、ガラが細かく煉瓦等も混在していたため、がれき類として処分することにより処分単価・費用が増加（運搬処分単価が約6倍に増加）

（3）その他、上記以外の土砂処分等

| 費用        |          | 費用        |
|-----------|----------|-----------|
| 119,129千円 | 4,578千円増 | 123,707千円 |

217,972千円の増額

## ボーリング調査場所



※校舎建設予定場所となる計7か所において実施

## 掘削土の状況

